



Toyama New Industry Organization

# イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による  
富山ならではの新産業の育成・創出

## 6. 産学官連携の推進

富山県が策定した新・富山県ものづくり産業未来戦略を推進し、県内企業の競争力を強化するため、成長産業分野における新たな技術・製品開発に向け、最先端の技術に関する情報提供、企業間等のネットワーク形成やプロジェクト等を行います。

### ■ グリーン成長戦略分野の取組み

地球温暖化対策で成長が期待される産業分野として「次世代自動車」、「環境・エネルギー」を含む新たな「グリーン成長戦略」分野の取組みを推進するため、セミナー等の開催や先進地視察による情報提供、情報交換の場を提供します。

### ■ ロボット技術研究ネットワークの推進

次世代ロボット関連産業の創出、育成、ロボットの利活用を促進するため、情報提供、情報交換の場を提供し、セミナー開催等により、ネットワークを推進します。

### ■ 医薬工連携イノベーション創出の推進

医療現場等における多数のニーズをもとに、医薬品関連企業やものづくり企業と医療・介護関係者、医療機関等が連携し、イノベーション創出を推進します。

### ■ アルミ産業成長力強化戦略の推進

アルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの事業化やアルミのグリーン化に関する研究開発を支援するほか、インターンシップ、海外技術者との交流を通じた人材育成等を実施します。

### ■ ヘルスケア産業育成創出の推進

ヘルスケア産業研究会を設置し、セミナー開催、コーディネーターによるマッチング活動、ヘルスケア製品開発の支援等を行います。

### ● ヘルスケア製品開発加速化事業

委託額	500万円/年
委託期間	2箇年度以内

### ● ヘルスケアイノベーション・チャレンジプログラム事業

委託額	500万円/年
委託期間	1年度以内

### ■ IoT・AI活用等生産性向上支援

IoT等の初期導入に関する総合的な相談対応を実施します。企業での出前講座、指導者派遣による企業課題の解決に向けた提案、さらにIoT等活用人材の育成研修も行っていきます。

## 7. 新産業・新技術の創出支援

### 産学官オープンイノベーションの推進

#### ● 新商品・新事業創出枠

バイオ、深層水、環境・エネルギー、ものづくり、航空機、医薬工連携、次世代自動車、ロボット、ナノテクなどの成長分野を中心に、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新事業創出に結びつく研究開発を支援します。

委託額	200万円以内
委託期間	1年度内



**深層水** 富山湾海洋深層水の電解質を活用した病者用食品としての経口補水液の開発(医薬品・化粧品、健康食品・飲料等の製造メーカー&富山大学)



**ナノテク** 環境配慮型疎水化CNFマスターバッチの開発(産業機械メーカー&富山県立大学)

#### ● 新ものづくり戦略推進枠

産学官グループから研究開発テーマを公募し、先端技術の実用化に向けた製品開発やCNF・高機能素材の開発・加工に係るコア技術の展開・事業化を支援します。

委託額	500万円/年以内
委託期間	2箇年度以内

#### ものづくり研究開発支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助成率	1/2
限度額	200万円
助成期間	最長2箇年度

#### 戦略的基盤技術高度化支援(サポイン)

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業に関し事業管理機関として支援します。

CASE

2

ユニオンテクノ株式会社 澤井 真悟 社長

▶ P.6 ● ロボット技術研究ネットワークの推進

### 企業間連携により製作した試作機をきっかけに 新たな連携を生み新ビジネス誕生

製造業の工場の自動化・省力化に携わってきたユニオンテクノ。富山県産業技術研究開発センターの誘いを受けて、「とやまロボット技術研究会」(現・とやまロボティクス研究会)に加入したのは平成29年のこと。ロボットセミナーへの参加や国際ロボット展への出展等を通じ、「中小の工場では汎用性のある自動機を求めているのがわかった」(澤井社長)という。

ところが現実には、ワークの種類が多様ですぐに変更になるため、専用の自動機の投資に踏み切れない。そこで同社は既存の多関節ロボットと画像認識センサーを組み合わせ、簡単な自動供給装置を開発。当機構の「企業間連携による製品試作事業」(令和元年度)の採択を受け(株)石金精機との製作を試み、ロボットに詳しくない人でもセンサーの設定を変更し、複数のワークが可能な自動供給装置をつくった。そしてこれに関心を示した別な企業から「工場内の運搬機の開発に力を貸して欲しい」と依頼され、新たな連携にもつながった。



▼同社が開発した複数のワークをこなすことができる自動供給装置。実務1年目のロボットについてビギナー社員が、センサーの設定などを行った。

▼自動供給機に関心を示した企業が商品化している運搬支援ロボット。軽い力でも100kg程度の荷物を運ぶことが可能。



◀工場内の製造ラインの自動化などに取り組む澤井真悟社長。中小の工場のニーズにも耳を傾ける。

## 8. 富山県ものづくり研究開発センター

### ● 富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。

10m法の電波暗室、最先端設備等設置スペースであるデジタルものづくりラボ、高機能素材ラボ、CNF製品実証試作ラボ、製品機能・環境負荷評価ラボ、オープンイノベーション・ハブと、研究開発スペースである開発支援棟で構成されています。



### ● 最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自らが操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

### ● 研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

### ● 実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

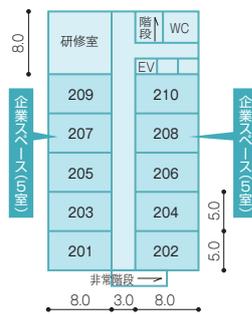
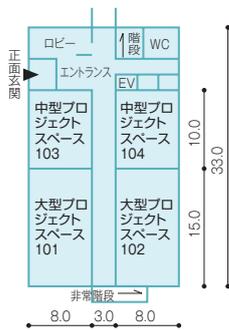
### ● 異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

### ● 開発支援棟の研究スペース

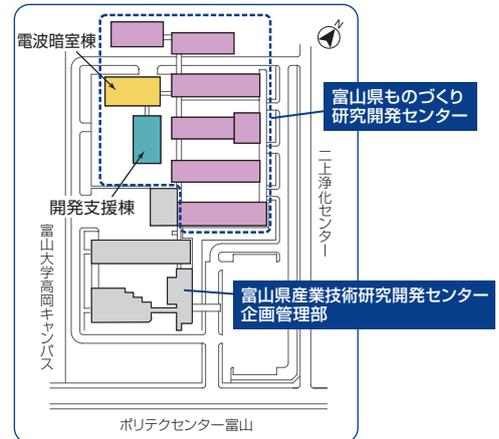
カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

[1階]			[2階]		
プロジェクトスペース			企業スペース		
使用料金	80㎡(2室)	月額 184,300円	使用料金	40㎡(10室)	月額 92,100円
	120㎡(2室)	月額 276,500円			



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。

### ● アクセス



高岡市二上町122  
 (富山県産業技術研究開発センター敷地内)  
 TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283